

委員会のうごき

経済建設常任委員会

3月14日から16日の3日間、付託案件10件、陳情3件、発議案1件について担当課長から詳細な説明を受け、慎重に審査を行った。

(水道課)

下水道工事完了

永年にわたり継続整備してきた下水道事業の管工事は、18年度でほぼ完了する。新年度予算は、合わせて約11億円。

今までの総投資額

(旧3町合わせて)

公共下水道分

約123億6千万円

農業集落排水分

約133億円

コミュニティプラント分

約1億9千万円

供用開始している地区の接続率が低く、一層、対策に努力するよう求めた。

(産業振興課)

御崎港の整備

平成18年から22年の5年間で、総額2億円の費用をかけて防波堤及び物揚場の整備を行う。

初年度予算は約8千万円で、そのうち、国の交付金は1/2。

バルバル大山

(旧中山から引継ぎ)

若者の定住化及び少子化改善を図ろうと各種青年団体が独自に年間4回のパーティなど団体間の交流と出合いの場を提供。町の活性化をめざしている。

この縁で結ばれた方も数組ある。若者の輪は広がっている。町補助金は、80万円。

保田地区農道

昨年、保田部落から出され継続審査していた町

道認定と拡幅改良整備についての陳情は、不採択とすべきとした。

理由は、要望は理解できるが、山陰高速道路が19年度に開通するなど、交通量等、状況が大きく変化する要因があり、現時点では見送るべきと判断したため。



整備される御崎港

盗難事件発生

(観光商工課)

3月3日未明、町営中の原スキーセンターで発生した盗難事件は、外国人窃盗団5人の犯行とみられ、その内3人を逮捕、2人は逃走中である。

被害は、現金約140万円(回収済みがあるた

め)その他に、ガラス窓の破損、金庫、収入印紙など。

被害のほとんどは保険により補てんされる。幸いに人災はなかったが、今後、セキュリティなどの整備をしなければならぬ。



盗難事件が起きた中の原スキーセンター